

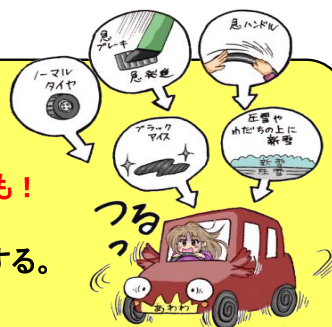
降雪・凍結時に向けた準備と対策

- 毎シーズン、初積雪や初凍結の日に交通事故が多発しています。
- 加東市内では、積雪や路面凍結が比較的少ないことから、油断しているドライバーが多く、準備の遅れが交通事故の発生や立ち往生の原因となっています。
- 早めに冬用タイヤの装着や、タイヤチェーンの準備を行い、山間部や日陰・橋梁等の積雪・凍結の多い場所の通行に備えましょう。
- 凍結路面では、スタッドレスタイヤでもスリップする可能性があるため、油断は禁物です。

凍結・積雪時の注意点

自動車の場合

- 法律上の注意点
 - ・ 雪道等でのノーマルタイヤ(夏用タイヤ)走行は法律違反となる可能性も！
- 安全な速度と車間距離を保つ
 - ・ 急発進、急ブレーキ、急ハンドルを避けるためにゆっくりと慎重に運転する。
- 天候の予測と運転中止判断
 - ・ 降雪が始まると瞬く間に身動きが取れなくなる場合がある。
 - ・ たとえ冬用タイヤであってもタイヤチェーンが必要となる場合もある。
 - ・ 事前に天候や気温をチェックして不必要な運転は控えましょう。
- 凍結しやすい場所を意識する
 - ・ 橋の上やトンネルの出入り口、日陰などは凍結しやすいので十分減速する等の注意が必要。
- 凍結路面を早めに発見する
 - ・ 凍結した路面は、濡れているように見える「ブラックアイスバーン」もあり見分けにくい場合がある。



自動二輪車(原付を含む)の場合

- 極力運転を避ける
 - ・ 非常に危険なため、公共交通機関を利用することが賢明です。
 - ・ 事前に天候や気温をチェックして、運転中止の判断を検討する。



自転車の場合

- 自転車の場合、運転しないことが最も安全
 - ・ 雪や凍結路面での走行は、転倒や事故のリスクが非常に高いため、自転車の運転は避ける！
- 安全のためにヘルメットを着用
 - ・ 自転車乗車時や凍結等で自転車を押して歩く場合も、安全のためヘルメットの着用を！

歩行の場合

- 歩幅を小さくゆっくり歩く
 - ・ 小さな幅でそろそろと歩き、地面に足の裏全体をつける。
- 重心をやや前に置く
 - ・ 地面に垂直に踏み出すようにし、体の重心をやや前に置くとバランスをとりやすくなる。
- 歩き始めに注意する
 - ・ 靴の裏についた雪をしっかりと落としてから、ゆっくりと歩き始める。
 - ・ 滑りにくい靴底の履物や靴に装着できる滑り止め等を活用する。

